

いつもと違う視点から 絵画を楽しみませんか。

所蔵作品約60点により、絵画にみられるさまざまな「素材と技法」を紐ときながら、画家たちの制作の工夫やこだわりをご覧ください。さらに、筆や絵具などの画材もあわせて展示し、**絵画技法のひみつ**にもせまります。絵に残された筆あとから、**見えなかったものがみえてくるかも!**?

このガイドは、アートへの入口です。メナード美術館にきて、ガイドをみながら展示室をめぐるみましょう。実際に作品を**みて、はっけん**したことや感動したことを、ぜひ に書きとめてお持ち帰りください。

うら面の鑑賞記念「みてねこスタンプ」もお忘れなく!

「**素材**」とは絵を描くもとなる材料のことで
「**技法**」とは絵を描くために画家がつくり出した方法です



フィンセント・ファン・ゴッホ《一日の終り(ミレーによる)》1889~90



ゴッホの激しい筆あとを、きて・みて…

画家の筆あとをみる!



どちらも福田平八郎が描いた鮎。
でも雰囲気が違うのはなぜだろう?



福田平八郎《鮎》1950



福田平八郎《鮎》1968



クロード・モネ《チャリング・クロス橋》1899

あわい色は絵具の重ね方がポイント



にほんが
日本画で使うもの
これはなんだ?



ゆさいが
油彩画で使うものを
作っています。

画家の 道具をみる!



すどい線に注目
はやみぎしゅう
速水御舟は
しゃせい
写生もすごい…



速水御舟《芙蓉(葉描)》(部分) 1932

画家の 感性を みる!



おとなも こどもも
きて・みて・はっけん♪
みてねこ はっけん♪
その絵にはなにかアル…

みてねこ
ガイド



高山辰雄《銀河を見る少女》2001

にほんが えのぐ
日本画の絵具のほか
ある素材を使って色を
ぬっています。

□ワークショップ「油絵具を体験 りんごを描こう」
初心者から楽しめるワークショップで、キャンバス(158×227mm)に筆とナイフでりんごを描きます。溶き油を混ぜない油絵具の厚塗りによる制作体験ができ、作品はお持ち帰りいただけます。

講師：山本正英氏(名古屋造形大学特任教授/洋画家)
茶谷麻里氏(名古屋造形大学洋画研究室職員/画家)

8月9日(土)お昼の12時30分~5時
申込先着20名 小学生以上 親子参加も可
参加費:2,000円(入館料を含む)
※お申込みは、うら面メナード美術サロンの
[申込方法]と同じです。



彫刻家の版画テクニックをみる!



彫刻のような版画とは…?



舟越桂《眠らないフィンクス》2013 初公開コレクション



岡鹿之助《城》1976

あぶらえのぐ とくちよう
油絵具の特徴を調べて
ぬり方を考えた岡鹿之助
どのように絵具をぬっている?



きて・みてうらへ!
にゃ~go!

このチラシをお持ちの方		夏割	
入館料を50円引き	2名様まで	【宿題割引】 夏休みの美術の宿題に取り組み学生さんは入館料が半額に!	【グループ割引】 8/10~16は4名以上で入館料を団体料金に割引!
		*他の割引との併用はできません	